

## 重点行動の観察と記録

2016年7月20日  
大阪セラピスト勉強会（齋藤舞）

対象児：Mちゃん 5歳5ヶ月

ABA開始 2013年8月～／セラピスト訪問開始 2013年10月～

観察する行動：動詞の表出のレパトリー数

介入方法

- ①「食べて」などと指示を出して、その動作をさせた後、「何してる？」と聞いて表出させる（3月～4月）。
- ②動作のイラストと文字（〇〇してる）が書かれたカードを見せ、「何してる？」と聞き、表出させる。答えられない場合はこちらが正解を言ってプロンプトする。後に、実際の動作への般化も行う（5月～6月）。

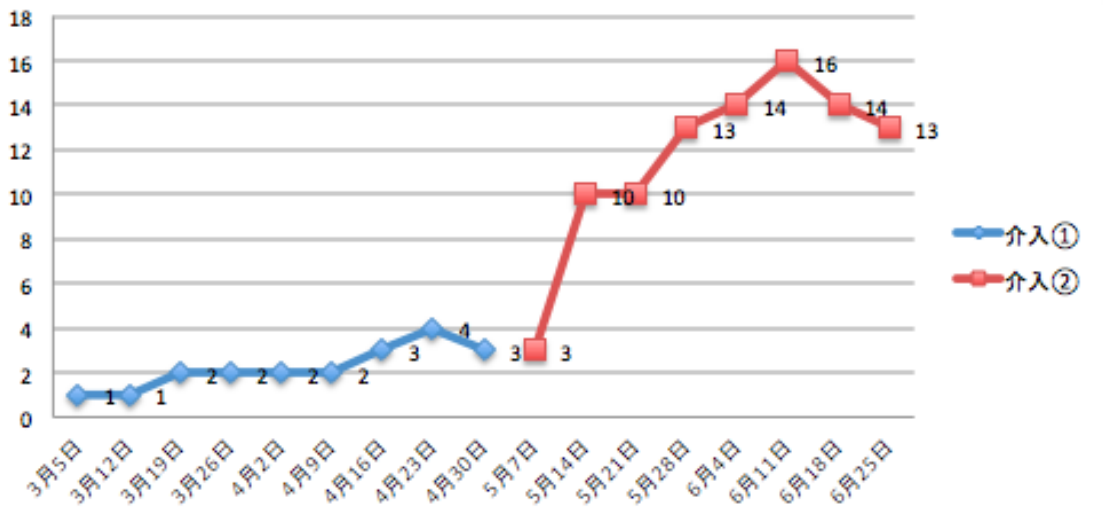
測定方法

- ・セラピストがいきなりその動作をしてみせ、「何してる？」と聞く。それで「〇〇してる」と答えられれば習得とする。
- ・その日に全て復習できなくても、過去2週間、安定してできているものは習得済みとした。

観察期間

2016年3月5日～2016年6月25日

### 動詞の表出のレパトリー数



コメント：最初はつみき BOOK 通りに、音声指示を出してその動作をさせた後、セラピストがその動作をやって見せて、「何してる？」と聞く、という方法を取った。しかし学習が進まなかったの  
で、文字付きの動作カードに切り替えたところ、急速に学習が進んだ。もともと文字が得意な子で  
あったためかもしれない。